



「保護者 学校教育アンケート」のまとめ

学校教育アンケートのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からの結果をまとめ、その結果に対して学校評議員の皆様へ評価・ご意見をいただきました。たくさんのお言葉や、貴重なご意見をいただきありがとうございました。結果については真摯に受け止め、今後の教育活動を充実させるために検討し、改善に努力していきます。今後とも、本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない E わからない %

(令和2年度はEの選択肢はありませんでした)

	A	B	C	D	E	
1 学校は、学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」をめざして進んでいる	R4年度	20.3	62.2	3.8	0.9	12.8
	R3年度	24.3	63.5	3.3	0.6	8.3
	R2年度	20.3	71.2	7.8	0.7	
2 学校は、学校だより・学年だより・Webサイト・メール配信等で、情報提供を適切に行っている	R4年度	42.3	53.1	2.3	1.0	1.3
	R3年度	51.0	43.6	2.8	1.3	1.2
	R2年度	38.7	54.2	6.3	0.8	
3 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる	R4年度	15.3	56.1	6.4	1.8	20.4
	R3年度	18.4	53.1	8.2	1.6	18.7
	R2年度	19.6	67.1	11.7	1.6	
4 学校は、スクールカウンセラーに相談したい時どうすればよいかをわかりやすく説明するなど、お子さんや保護者にとって悩みや困ったことを相談しやすい	R4年度	24.6	53.6	7.3	3.3	11.2
	R3年度	27.9	51.3	7.3	3.6	9.9
	R2年度	22.5	53.9	19.9	3.6	
5 学校は、分かりやすく工夫して授業を展開している	R4年度	27.2	55.0	5.9	1.3	10.7
	R3年度	28.2	55.9	3.6	1.3	11.0
	R2年度	25.9	66.3	7.1	0.7	
6 学校は、ICT機器（コンピュータ・タブレット端末・デジタルテレビ等）を学習に適切に生かしている	R4年度	25.5	50.6	10.7	3.1	10.1
	R3年度	27.9	50.9	10.2	1.8	9.2
	R2年度	20.2	52.9	22.7	4.2	
7 学校は、お子さんの体力向上に対する指導を適切に行っている	R4年度	18.4	54.6	12.8	2.8	11.5
	R3年度	18.7	57.4	10.5	2.2	11.1
	R2年度	17.7	64.0	16.7	1.6	
8 学校は、授業参観・懇談会・教育相談等、保護者と学校が話し合う機会を適切に設けている	R4年度	30.9	58.5	6.0	1.7	2.9
	R3年度	26.4	54.9	11.4	2.7	4.6
	R2年度	26.9	60.9	11.1	1.1	
9 学校は、PTAや地域との連携を図っている	R4年度	27.7	54.6	3.6	0.6	13.5
	R3年度	26.4	55.5	3.9	0.6	13.6
	R2年度	28.8	66.1	4.9	0.2	
10 学校は、教室環境・廊下・掲示等、お子さんの学びの場としての環境づくりができています	R4年度	30.1	53.1	5.0	1.8	10.1
	R3年度	27.9	53.7	5.9	2.1	10.4
	R2年度	27.6	60.4	10.3	1.8	
11 学校は、お子さんの健康と安全に対する指導を適切に行っている	R4年度	30.2	56.9	4.3	1.7	6.9
	R3年度	31.3	56.8	4.0	1.5	6.4

	R2年度	26.3	68.6	4.6	0.5	
--	------	------	------	-----	-----	--

12 学校は、食育を通してお子さんのよりよい生活習慣作りに努めている

R4年度	46.0	44.1	4.5	1.4	4.0
R3年度	46.6	45.4	2.1	0.7	5.2
R2年度					

13 学校は、新型コロナウイルス感染症対策や保護者への連絡を適切に行っている

R4年度	37.8	50.5	6.4	1.8	3.6
R3年度	41.5	47.2	5.8	2.4	3.1
R2年度					

14 お子さんは、学校を楽しみにし元気に登校している

R4年度	49.4	37.9	6.9	4.2	1.7
R3年度	51.3	36.2	8.8	2.2	1.5
R2年度	35.2	57.1	6.1	1.4	

15 お子さんは、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度が育っている

R4年度	37.6	55.4	3.7	1.1	2.2
R3年度	37.2	56.4	2.4	0.7	3.3
R2年度					

16 お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている

R4年度	37.9	42.7	13.0	5.6	0.8
R3年度	36.9	43.0	13.8	5.8	0.4
R2年度	36.1	45.6	16.0	2.3	

17 お子さんは、家庭学習に取り組んでいる

R4年度	30.1	45.4	15.6	8.4	0.5
R3年度	31.3	45.1	15.9	7.6	0.1
R2年度	30.1	47.7	17.7	4.6	

18 お子さんは、「テレビ視聴やゲームをする時間」「携帯電話やインターネットの使い方」等について、家庭でのルールを守っている

R4年度	22.6	43.0	23.0	11.0	0.5
R3年度	21.4	48.2	19.1	10.2	1.0
R2年度	23.7	46.6	23.0	6.8	

19 地域・保護者における子供の見守り活動が充実している

R4年度	22.4	59.1	7.7	2.9	7.9
R3年度	24.5	57.1	10.1	1.6	6.7
R2年度	31.7	54.0	12.8	1.5	

20 お子さんは、「英語科の授業」に意欲的に参加している。(1, 2年生のみ)

R4年度	34.6	43.6	6.6	1.6	13.6
R3年度					
R2年度					

※（裏面あり）紙面は文字が小さいですが、ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

【結果をもとにした学校関係者（学校評議員）評価】

①評価できる点

- ・全体的に新型コロナウイルス感染症への対応策で試行錯誤されてきた結果が定着しつつあるような印象を受ける。その結果として、“デジタル化の推進”や“学校との連絡”というような項目が比較的良好な評価を維持していると思う。毎年、児童は変わるため、引き続き試行錯誤は必要と思うが、授業視察でも確認できた通り、“デジタル化の推進”と“アナログ的要素を残す”というバランスを考慮頂きながら進めることで、良い学校環境が維持できると思う。
- ・A・B評価が高いことから学校と家庭の連携が取れていると感じる。
- ・質問8に対して90%近くの方からA・B評価を得ている点は、新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、積極的に保護者の方々へ学校が話し合う機会を提供していることが感じ取れて、非常に評価されるべきだと思う。また、質問9に対しても80%を超える方がA・Bと回答していることは、PTAの他にも「おやじの会」等の活動を通じ連携が取られていると思われるので、非常に評価されるべきだと思う。
- ・学校（先生）が生徒に寄り添っての指導、地域との連携に取り組む姿が伺える。
- ・全体的には良好な結果だと思う。

②改善が必要な点

- ・質問3に対して、D評価が0.2%ではあるが、増えている。個人的には、他の項目はともかくこの部分については、限りなく0%にしたいと考える。見えないところでいじめがあるのか不明だが、一部の保護者はそう感じてしまっていることが残念である。とはいってもなかなか難しい問題であると思うが。
- ・いじめに対するの努力は感じられますが、「0にしなくては」と思う。大変だが。
- ・昨年も指摘した質問19のA・B評価の割合が更に減少しているが、他の項目と比較して特出しているわけではないので様子をみたい。
- ・テレビ、ゲーム、携帯電話、インターネットのルールを守るという点が少し低い傾向にあることが懸念される。これは、学校側というより各家庭側の問題だが、一度、そういったことに対する教育について、学校側に期待することを聞いてみるのも良いかもしれない。この内容は、我々親世代の子供のころとは大きく環境が変わっているため、我々の常識感覚だけでは難しく、できるだけ広い世代の考え方を取り入れる必要があると考えている。

③感想

- ・学校訪問時、いつも元気よく挨拶してくれる児童が多く、非常に好感もてる。今後、低学年の児童は成長とともに挨拶することに「恥ずかしさ」が生じてくることも考えられるが、このまま続けてほしい。
- ・過去より、塚田小学校の教育理念は一貫通貫していると考えている。また、その考え方を支持している。これは、教育目標の言葉だけではなく、その言葉に向かって先生方が考えられていることに対し、そのように感じている。非常に良い点だと思っているので、引き続きしてほしいと考えている。
- ・学校や先生方の大変な努力が感じられる。
- ・コロナ禍で生活様式が変わりつつあるような気がするが、スクールガードの方々やPTAの人たちが通学路で子供たちに声掛けしてくださっていることに感謝している。保護者自らが子供たちを守るという意識づけが求められていると思う。その気持ちが伝われば地域は必ず助けるはず。
- ・C・D・Eに中に埋もれている問題は学校がある程度把握していると思う。ちょっとしたことが原因で不登校になってしまうのを見逃さないでほしい。「道徳」と「命をいただく」の教科書を時々読み返している。ゲームの世界は死んでも簡単に生き返る。困ったものの。

④その他

- ・目下の懸念は、5月8日に予定されている新型コロナウイルスの5類への引き下げ以降である。子供たちはマスクをする生活に慣れてしまい、マスクを外すことができるのかという懸念がある。人と人との関係において、相手の表情を読み取るということも非常に重要で、このまま「人と話すときはマスクを着ける」ということが定着し続けると、今後の世の中の対人関係に対し、悪い方向に作用してしまうのではないかと懸念している。いろいろな考え方ががあるので、大人でも、この“マスクを外した生活”に対しては、難しいところもあると思う。学校だけではどうにもならない問題と思うので、家庭、地域、学校が連携して、マスクを外した生活に向かっていけるとよいと思う。
- ・昨年も指摘した質問20のA・B評価の割合が更に減少しているが、他の項目と比較して特出しているわけではないので様子をみたい。
- ・地域のイベント等「おやじの会」のパワーに感謝している。通学路も狭く暗い道も多いので不審者も多発している。通学路検討委員会も学校と協力し取り組んでいる。抜け道の問題も出ている。
- ・地区連や事務局員、おやじの会OBとしての立場から、地域や保護者とも連携が取れていると感じている。この関係を生かしてさらに何かできることはないかと常に考えている。しかし、PTAや自治会のあり方、教職員の働く環境改善など、相反する部分もあると思う。スクールガードの皆様の高齢化や、なり手が少ないなどの問題もある。子供のためにも思ってもらうためには、学校を知ってもらうことが一番だと思う。旧バザーや塚小まつりなど、地域の方とのコミュニケーションが大切だと思う。
- ・子供たちにいろいろなことを経験してほしいとの校長の意向であるので、その手伝いをしたいと考えている。
- ・土曜日の校内整備にたくさんの先生が一緒に行っている良い先生たちで、子供たちも幸せだと感じている。

- ・公民館も児童ホームと一緒に地域の子供が地域の中で、元気いっぱい過ごせる場所を提供したいと考えている。徐々にではあるが、児童が感じているコロナ禍での閉塞感が解消される方向に向かっていると思う。公民館は、一人でも多くの塚田小の児童が参加したいと思える事業（イベント）を提供していきたい。
- ・このアンケートについて、昨年度より設けられた選択肢Eを選択する割合が増えており、特に学校が重要課題だと認識し、取り組んでいる事項に関する質問での回答が多いと思われる。コロナ禍で評価が難しいこともあったと思うが、極力A～Dで評価をお願いしたい。
- ・次年度より、コミュニティスクール制度へ移行するが、引き続き、連携して、よりよい学校・よりよい地域作りにお手伝いできればと思う。
- ・「おはよう」の挨拶を本人はしていると思うが、声が小さくて聞こえない。こちらも挨拶をすると「変なおじさん」と見られてしまう時があり難しい。

【学校より】

①様々なお意見に対して

- ・マスクの着用を含むコロナ対応、マラソン納会、タブレットについて等々に対する保護者の皆様のご意見は様々です。それぞれのご意見を参考にしながら、今後も学校としてより良い選択ができるよう考えていきます。

②いじめについて

- ・いじめについては、早期発見と未然防止が大切だと考えます。現在は、市（年3回）や県（年1回）の他、学校独自で月に1回のアンケートを実施しています。また、相談BOXの設置の他、困ったときには担任以外でも相談しやすい教職員にすぐに相談するよう声をかけています。また、未然防止のために、道徳の授業を中心とした道徳教育や、日々の教師の声掛けから、いじめをしない、見ないふりをしない児童を育てていきます。

③コロナ対応について

- ・コロナ対応については、3年目になり状況や国や市の対応も変わってきていますが、塚田小学校は市内の小学校同様、国や県の方針を基にした船橋市のガイドラインに沿って対応してします（マスクを着脱の場面、お休みいただく基準等含む）。しかしながら、学校規模や設備・環境が違うため、各学校の対応に違いがあることもあります。例えば、水泳指導について、全学年行えた学校もありますが、6年生のみ着衣泳という学校もあります。本校は今年度は6年生のみの実施となりましたが、近隣の同じ規模の多くは、本校同様6年生のみの実施でした。また、プールの老朽化等で自校のプールが使用できず民間の施設を利用した学校もありますが、それは学校独自で決められることはありません。

④教職員の資質向上・学習指導について

- ・教職員の経験等の差による指導の差異を減らすために、足並みをそろえられるよう学年主任を中心に学年で確認していきます。また、校内研修を充実させ指導力の向上に努めます。

⑤教職員不足について

- ・職員の配置については、全て県または市による配置となります。学校独自で職員を配置することはできません。県や市にはお願いしていますが、人材確保が大変難しい状況により着任が遅れ、ご心配やご迷惑をおかけしております。

⑥その他

- ・保護者が関わる行事については、できる限り早めにお伝えするよう努めます。
- ・体力向上は、本校の重点課題の一つととらえています。年間を通じてさまざまな手立てを講じ、マラソン納会の開催も含めて検討していきます。
- ・文書のデジタル化については、各ご家庭の事情やお知らせの内容により完全にペーパーレスは難しいと思いますが、できるものから、メールやホームページでもお知らせしていきます。
- ・給食の分量は児童の体位と国の基準に則っています。また、子供の食の体験を増やすことも大切に考えて献立を立てております。
- ・上履きについては、特に転入児童やサイズが合わない児童については学校指定以外の物でもかまいません。体育の授業も行いますので、底が薄いものや、脱げやすいものは避けてください。
- ・体操服の名札は、アイロンで装着できるものもあるそうです。縫い付けタイプは販売店のサービスです。
- ・行事の写真撮影は、全て6年生の卒業アルバムを依頼している業者さんをお願いしています。
- ・施設・設備の修繕については、学校から要望を出し、市が市内の学校全体を考慮し、優先順位をつけての実施となります。今後も要望を続けていきます。
- ・特別支援学級についても、設置は市が決めます。少しづつ特別支援級も増えていますが、来年度塚田小に設置の予定はありません。
- ・アンケートについては、記名は必須ではありません。ただし、詳しくお話を伺いたい場合や、すぐにお答えしたい場合、あるいは誤解に対してご説明したい場合等、可能な限り記名をお願いしたいと思います。
- ・マスクの着用については、コロナの状況や国の方針も変わってきています。今後は、個人の判断にゆだねられるようです。児童が自分で判断するのは難しいと思いますので、ご家庭でも話し合っただけだと助かります。学校としては、場面と状況に応じて、外していきたいと考えています。
- ・PTA活動についてのご意見は、PTA本部の皆様にお伝えしました。